

3倍体キンカン「ぷちまる」産地育成への取組み

高度技術支援課 園芸担当

ねらい

3倍体キンカン「ぷちまる」は、国が育成した登録品種で、3倍体であることから完全種子がほとんど無く、丸ごと食べれるのが特長ですが、開花後の着果が不安定であるため、全国的に産地化が進んでいないのが現状です。

県内では平成27年度末時点で、5戸の生産者が施設野菜や花き施設面積の一部を「ぷちまる」へ転換しており、着果への課題対策が求められていました。

そこで、平成28年度から生産現場の課題を解決するため、徳島県立農林水産総合技術支援センター農産園芸研究課が構築した着果安定技術を現地で普及実証するとともに、関係機関が一体となって、生産性の高い果実づくりを目指す生産者を育成し産地化を進めてきました。

活動地域・対象

阿南市、阿波市、海陽町のぷちまる生産者

普及活動の目標

- ・ 一番花着果技術の普及
- ・ 生産性の高い果実づくりを目指す生産者の育成

目標に向けた活動概要

1) 着果安定対策

着果安定技術には、「開花期における環状カット処理技術（写真1）」と「ジベレリン液剤散布による一番花着果効果」を平成28年度から29年度までの2カ年間、県下3カ所のぷちまる無加温ハウス栽培の園地において検証し、本技術の普及に努めました。



写真1. 環状カット処理

2) 無加温ハウス栽培マニュアルの策定

生産者が甘い果実を適期に収穫を判断できる指標をつくるため、各栽培園地の果実糖度と酸含量等を調査するとともに、一番花着果対策を反映させた栽培マニュアルの策定に取り組みました。

3) 実需者等との意見交換会

市場から求められる果実品質や出荷規格等を検討するため、場バイヤー等との意見交換会や県外の卸売市場の視察研修会の開催を重ねてきました（写真2）。



写真2. 意見交換会

4) テストマーケティング調査

実需者ニーズを調査するため、東京方面の飲食店（12店舗）において、食材としての評価調査を実施し、その結果をもとに実需者から求められる果実品質を生産者と検討しました。

5) 加工品の試作と評価

種が少ないという「ぷちまる」の特性を生かしてドライフルーツを試作し、六次産業化志向農家の方々を対象に試食会を開催しました。

普及活動の成果

1. 一番花着果安定技術の効果と普及

2カ年実証したところ、ジベレリン300ppm散布区が最も高く、次いで環状カット処理区で、無処理区は最も低い結果となりました（図1）。ジベレリン液剤の散布は、薬剤の経費がかかるものの簡単で安定的に着果率が向上することを現地でも実証することができました。また、環状カット処理技術は、幼木時には作業が容易でありましたが、成木時には手間がかかったことから、生産現場への普及性は低いと考えられました。

以上の結果を受けて、平成30年度には生産者全員が開花期のジベレリン液剤散布を行い、収量の安定化につなげられるようになりました。

2. 適期収穫の指標と栽培マニュアルの策定

園地毎に満開後約210日の果実糖度と果皮色の相関関係（ $r=0.967^{***}$ ）を明らかにし、全国有数産地の完熟キンカン糖度16度以上の基準に習い、その糖度の果実から収穫時期を判断できる専用のカラーチャート（写真3）を作成しました。更に、その指標と一番花着果対策を反映させた栽培マニュアルを策定したことにより、生産性の高い果実づくりを可能にしました。



写真3. カラーチャート

3. 商品化づくり

実需者との意見交換会等を重ねてきたことにより、「ぷちまる」のネーミングでデザインされたパッケージが作製され（写真4）、東京方面等に出荷販売ができるようになりました。



写真4. パッケージ

4. 生産面積の拡大



図2. 県下のぷちまるハウス栽培面積

3年の取組みで着果対策等が進められたことで、生産者の不安感も払拭されたため規模拡大を行う生産者が増加した。更に新規の栽培者も3名増えたことにより、ハウスの生産面積は取組み前に比べて約2倍(68a)までに広がりました（図2）。

用語説明 環状カット：開花期以降の根の伸長を抑制し一番花果実の結実率を高めるため、一次的に同化養分が根に転流しないよう樹皮（師管）を環状に除去する処理。

今後の発展方向

現在、阿波市、阿南市、海陽町の3地域において栽培されていますが、その多くは、果樹以外から転換された生産者です。一層の品質向上を目指していくためには、栽培技術の向上が課題であり、今後もその点を支援していきます。

関係者からの声

生産者：開花期にジベレリン液を散布するようになって着果量が確保できました。

高度技術支援課

連絡先：徳島県名西郡石井町石井字石井1660 tel：088-674-1922